

輸出事業計画

様式 2

申請者名：北海道産豚肉輸出拡大コンソーシアム

品 目：豚肉

1. 輸出における現状と課題

(1) 現状

- ・処理頭数（令和2年次（1～12月））215,945頭、生産額8,690t、総販売額96億円
- ・2020年の輸出実績は合計569百万円・188 t であり、ロースや肩ロースのほか、バラやスソモノ等を含め香港やシンガポール等を中心に拡大。

(2) 課題

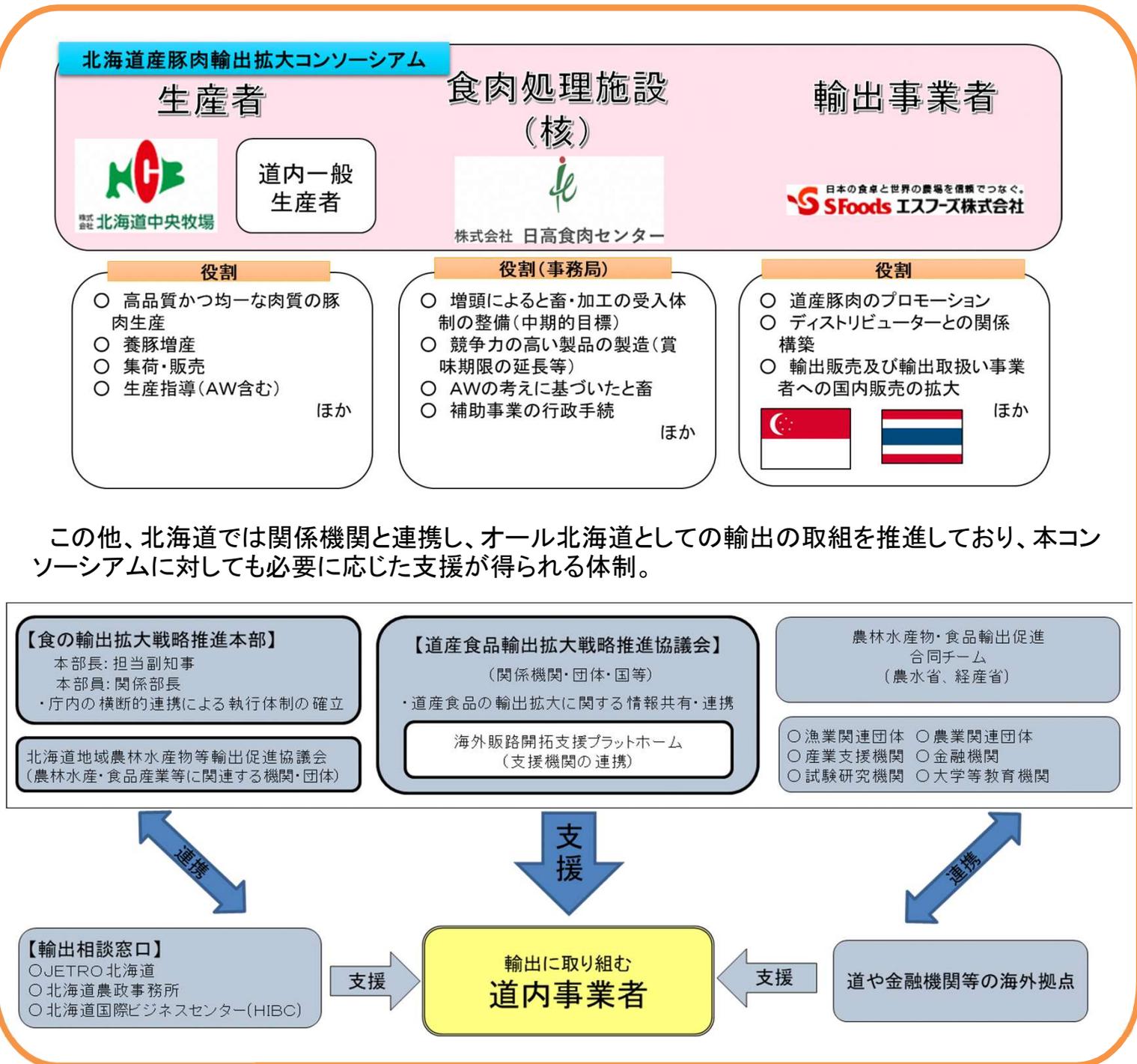
- ・豚肉の国内販売は 92億円、生産量115%増加と順調ではあるが、輸出の販売量は年々増え続けており、より北海道産豚肉をアピールすることにより、付加価値の向上が見込まれる。
- ・輸出に当たっては主に冷凍流通となっており道産豚肉の魅力が十分に伝わっていない。今後の流通形態を変化（チルド輸出）させることで、より日本産の豚肉のおいしさをアピール可能。

2. 輸出事業計画の取組内容

- ・北海道産豚の輸出拡大のため、輸出国のマーケット調査を実施する。
- ・北海道の自然・環境及び豚肉生産に係るプロモーションビデオを作成し、小売・外食で放映することにより、消費者への認知度の訴求とイメージづくりに取り組む。
- ・現状販売先であるシンガポール及びタイへのプロモーションの強化による北海道産豚肉の認知度の向上を図る。

取組名 (又は調査国)	実施時期	実施体制	実施内容
プロモーション等のための 推進協議会の開催	2021年7月、10月2回	北海道豚肉輸出推進協会の うち、エスフーズが中心と なって実施	プロモーション内容の検討会、報告会
プロモーション・販促活動 (タイ)	2021年9月	北海道豚肉輸出推進協会の うち、エスフーズ・生産者が 中心となって実施	小売における北海道産豚肉の販促キャンペーン
プロモーション・販促活動 (シンガポール)	2021年10月	北海道豚肉輸出推進協会の うち、エスフーズ・生産者が 中心となって実施	小売における北海道産豚肉の販促キャンペーン
プロモーション・販促活動 (タイ・シンガポール)	2021年8月	北海道豚肉輸出推進協会の うち、エスフーズが中心と なって実施	PV作成し、現地小売・外食で放映することにより北海道のイ メージと北海道産豚肉の安心・安全を訴求する。
マーケット調査 (タイ)	2021年9月	北海道豚肉輸出推進協会の うち、エスフーズが中心と なって実施	流通インフラ・現地調理方法・食文化・小売り事業のニーズを各 国別に調査。
マーケット調査 (シンガポール)	2021年10月	北海道豚肉輸出推進協会の うち、エスフーズが中心と なって実施	流通インフラ・現地調理方法・食文化・小売り事業のニーズを各 国別に調査。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

	現状 (令和2年度)	目標年 (令和5年度)
輸出額 (百万円)	141	203
輸出量 (t)	141	203
輸出先国	タイ、シンガポール	同左